

広報 こすど

発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月1日
1部5円
印刷所 昭栄堂印刷所

人口のうごき
46,121現在
世帯数 2,214戸
人口 男 5,216名
女 5,550名
計 10,766名



～新しい年をむかえた小須戸町～



明けましておめでとう
ございます。

新春を迎え、町勢の伸
展と皆様のご多幸を心か
らお祈り申し上げます。

昨年米国の新経済政
策に伴い、国際通貨問題
景気後退、それに加えて
政治不安の暗い混迷のう
ちに暮れましたが、迎える
新年は沖繩の復帰、景
気の回復と明るい新年で
あるよう希うものであり
ます。

新年に当たり、抱負の
一端を申し上げますと、
本年は町づくりの基本構
想と、長期総合計画を昨
年発足した、総合計画審
議会に諮り決定する、こ
れにより十年後の小須戸
町の理想像をえがき、そ

年頭のご挨拶

画餅とならない 町づくり計画を

小須戸町長 五十嵐重雄

の表現のため長期計画、
実施計画を樹て一歩一
歩き上げて行くものであ
ります。

この種の計画は、兎角
作文的なものになりがち
であります。それでは
絵に書いた餅となりま
すから、実施計画には予
算の裏付けが必要であり、

すので、従来も乏しい
財政のうちから最重要
事業として実施してき
ました。だが現状はま
だまだでありますから
引き続き努力をします

二、新規事業として
(一)幼稚園の建設
(二)合同保育所の建設
(三)児童遊園の建設

本町では四十五年度に
赤字再建が終わり、四十
六年度は自前で予算編成
の出来た第一年度であり
ますので、再度の赤字転
落にならないよう努力を
しております。

国の財政は支出に見合
う不足分は公債発行で埋
めますが、自治体にはそ
のような方法が許されな
い、然し金がないから何
もしないこともまたゆる
されないので、全町民の
豊かな生活への前進のた
め、全力をあげて計画事
業の遂行に奮闘すること
を誓いまして、年頭の挨
拶と致します。

新年おめでとう ございます

- 町長 五十嵐重雄
収入役 早川清志
町議会 (順不同)
議長 梅津英五郎
副議長 栗原久平
議員 穴沢長太郎
中野一雄
捧 貞吉
新井田七郎
本多 純
野崎隆司
高山三治
渡辺留治
砂井松一郎
大貫己三郎
海津平一郎
土屋安二
荒木安太郎

- 教育委員会
委員長 岡田六衛
委員 川瀬弘一
保科 栄
高橋孝止
岡田寅男
社会教育委員長 楠原真次
中学校長 大橋秀吉

- 小須戸小 浅岡嘉久吉
矢代田小 高橋哲也
定校主任 桜井 猛
消防団長 須藤照七
警察所長 北島正二
郵便局長 塩田正二
矢代田駅長 並木清一
商工会長 梅津英五郎
農協組合長 岡田六衛
社会教育団体長(連合)
青年団 吉田和幸
婦人会 松沢キヨ
PTA 加藤三友
体協会長 渡辺欣二

- 東京小須戸会
会長 佐々木詞朗
副会長 長谷川邦吉
伊藤広次
事務局長 和泉芳郎
外会員 一同

- 特別会員 衆議院議員 米田東吾
新須戸小須戸会
会長 田中堅太郎
事務局長 加藤国 郎
公民館長 間野良知
副館長 木村敏三郎
森 田 登
分館長
小須戸 佐藤正雄
矢代田 斎藤伝松
横水 木村敏三郎
新保 川瀬弘一
社教主事 栗林 毅
主事 白井 晃
書記 清水沢三枝
広報編集委員
役場 柏 大治
阿部倉一
矢代田 星田金雄
中学校 今井雄介
小学校 外山 寛

小須戸 凡土記

近世小須戸町 支配の人達

大 治
与次兵衛

瀬兵衛の死んだ延宝の
次の年号が天和であるが
天和三年(一六八三)の
溝口公家老伊織家が代々
大切に保存された資料中
「御領内見分之書付」これ
は特に信用度が高い貴重
な文獻だといわれ、その
中に天和三年、小須戸組
大庄屋坂井瀬兵衛、人家
一〇軒、人口八二四人
五四石と記され、その
上に貼紙で大庄屋跡左エ
門、人家一八軒六八五
人四五石(注釈に年代
不詳元禄年間頃と推定)
とあり、天和三年の記録
とそれ以上に貼付けられ
た家、人数に多少の変動
があるとしても、始めて
小須戸町の全貌が明らか
にされた記録で、お隣り
の白根町が九十六軒、人
口五四〇人に比較すれば
信濃川を背景として、当
時はかなり発展した町と
いわなくてはならない。

二代瀬兵衛も茂林瀬兵
衛と称した人で、初代瀬
兵衛死後、天和三年まで
庄屋職であり、庄屋跡左
エ門は元禄前貞享年間二
十年の在任で、二人とも
極く短期間に庄屋職を退
職している。

新津市川口新田の真田
家文書には、元禄二年よ
りの小須戸組の記録があ
り、その次に就任したの
が大庄屋坂井与次兵衛で
ある。中浦原郡誌中小
須戸町は小須戸資料とし
て唯一のものであるが、
郡誌に曰く「延宝五年九
月田畑島毛地等の丈量あ
り、時に大野安之助里止

たりしが、元禄元年(一六
八八)命により新築田に
移住し今年五月、坂井与
次兵衛、横越より来りて
その職を継ぎしが原る吏
才あり、微賈勤農より省
略溝口侯すなわち与次兵
衛が積年の勤勞を賞して
大庄屋に進め、且つ信濃
川以東の二十余箇村を新
津組より割き、小須戸組
を置き与次兵衛をして之
を管治せしめたるは享保
二年(一七一七)西のこと
なりき)

右の文獻中延宝頃地は
間違いない。大野安之助
は大野仁右エ門の伴であ
ろうか。里止は名主のこ
とで公文書に使用してい
ない当時は、肝煎りの名
称を使用しており、庄屋
瀬兵衛の下で肝煎り役を
勤めたものとしても、当
時の諸文獻に安之助は見
当らない。特に坂井与次
兵衛の文録は正しいとい
しても、小須戸組が享保
二年説は誤記で、寛永年
間小須戸組が独立したこ
とは間違いない。第一元
禄から正保の約三十年間
在職していない。

元禄十三年に死亡して
おり、その文獻の裏付け
として小須戸組に庄屋が
欠けたので、小泉蒼軒文
書には宝永元年(一七四
〇)小須戸組庄屋 笠原左
衛門(戸頭村大庄屋)が
兼帯で管理に当たってい
る。郡誌は越佐資料編纂
の高橋義彦氏の鑑修で発
行されたものであるが、
小須戸の資料については
大きく修正しておいた。

三代三夫婦

揃って新春を迎う

おめでたい一家、小向の大橋さん



大橋さんご一家

昔から橋の渡り初めには親子孫と三夫婦揃った一家が先頭を切ることに定められている。それは家運繁栄、子孫長久という大きな幸せにあやかりたいという意味からである。

ところで、そのめったにないおめでたい御一家が、現在わが町に一戸だけ見られるのである。

所は小向、家号は治郎助どん、家族構成は

大橋正治さん 七七才
妻 キイさん 七六才
長男 一郎さん 五四才
妻 君江さん 四七才
孫 治助さん 二七才
妻 清江さん 二四才
となつてゐる。

過去帳によれば御先祖は享保十三年十月死亡となつており、随分と古い

家柄(約二四〇年前)で現正治さんが八代目、孫治助さんがちよと十代目、十一代目を継ぐ片半分も既に生まれ、すくすく育つてゐるという幸せな家庭である。

父祖伝来の田畑を守り耕してきた典型的な農業一家で、将来もこの道一すじに大地と取組んでいきたいと当主一郎さんは力強くおっしゃる。

家に関する古い記録を大切に保存されており、それによると今の家作は文政七年(約一四〇年前)に建てられたもので当時の材料、職人手間、手伝い等、実にくわしく誌されてあり、文化資料としても珍重すべきものがある。

歳末助け合い

托鉢浄財九万余円

仏教会より町当局へ

今年も寒風に吹きさらされながら五日間にわたって、仏教会の托鉢が実施され、全町民の心こもった浄財九万五千九百拾四円が町当局へ寄託されました。

いろいろな事情で苦しい生活を続けておられる方々に対し年末・お正月へのあたたかい贈りものになったことと思われたい。

謝意を表します。

矢代田 穴沢 武雄 殿
電 文 滝沢 松衛 殿
鎌 倉 板谷 恒司 殿
横 川 中野 一雄 殿
小須戸 砂井松一郎 殿

なお、托鉢実施に際し関係部落へ有線放送を通じて趣旨徹底方、御奉仕を頂いた農業協同組合殿並に仏教会の皆さんに中食の御供養を賜つた左記各家に対し、深く敬意と謝意を表します。

ご協力ください

本年の除雪計画

最新の資料によりまして、今冬は豪雪の周期にあたり、大雪になるおそれがあると、新潟気象台が予報しております。

町当局も雪にそなえて道路の除雪計画や雪害防止対策を考えておりますが、町民各位からも雪による被害防止または町が行なう道路の除雪計画が円滑に行なわれるように次の事項について特段のご配慮ご協力をお願いいたします。

一、雪中路上に物件を放置しておかないこと。
万一放置物件に除雪車が損傷を与えても、補償は一切いたしませんから充分注意願います。特に自動車の路上駐車については配慮願います。

一、小堀や溝へみだりに雪を捨てると水の流れを妨げ、道路や床下浸

ご協力ください

本年の除雪計画

水になるおそれがありますから、町で指定した場所へ捨てるように願います。

一、本町通り(県・町道)に面した市街地では、交通確保の面から道路へは雪を投げ出さないこと、特に屋根の雪おろし後は軒下に積上げのり、よく整理しておくように願います。

一、道路際の立木が雪のため路上に垂れ下がっている車や人の通行を妨げるほか除雪車の作業にも支障をきたしますから、所有者はよく注意し除去するよう願います。

一、家屋倒壊防止のため屋根の雪おろしは早目にするようにし、またなだれ止めの不十分なものはよく整備して、なだれによる事故防止に願います。

なぎさ 初詣で

除夜の鐘を聞きおわればまず初詣である。近年その数がだんだんふえていくことは誠に結構なことだ、家族一同の無事息災を感謝する人、大きく天下国家の平和を祈願する人、中には十円玉のお賽銭で商売繁昌、諸縁成りなどお願ひをする人も多いたると思われ。

それにしても町の諏訪神社境内に於ける水溜りができ、それと周囲の通路の暗いこと、何とか

お知らせします

ガス・水道工事は

一、ガスの工事は、ガス水道課に申込み下さい

二、水道の工事は、ガス水道課か、つぎの水道指定工事店に申込み下さい。

共栄設備・真保金物本店・総合住宅設備工業・高井商会・保科接工業所・樽田農機店・田沢電気店・藤崎兄弟商会(風間電気商会取次)・ガス器具のことなら次の公営ガス器具指定販売店に相談して下さい。

マルサ家具・木村茶店 電器部・関本商店・真保金物分点・伊勢屋石油店・銅基金物店・かまくら十貨店・山惣燃料株式会社・田中石油店・風間家具店・金徳金物店・古川商店・高野電気商会・真保金物本店・森田屋金物店・小須戸町農業協同組合・羽田野呂店・山惣石油店・吉源電気商会・田沢電気店・土田商店・マツヤ商店 (ガス水道課)

ライオンズが

プレゼント

さる十二月二十日町ライオンズクラブ(榎木賢司会長)では、わたくし共、二十名の老人への病見舞として各老人からは大変、よろ毛布各一枚を、会員が手こばれております。

忘年小須戸句会

喪正月なれども少しハガキ買う
初雪の中々とけず二日程
雪田いする雨雲に日も射しぬ
山茶花のこぼれし処掃き残す
冬の雷怒り解きたる如く止む
自然薯と堀る話など火燃ゆ
どか雪の中の白菜取り急ぐ
行く年のことども納屋の黒板に
灰ならし筋目を立てて年を越し
村協議更けてきまらぬ寒さかな
旧友の転居通知や年暮るる

榎男 香月 梧桐 芳人 虚秋 流水 太浪 喜雨 杏水 碧水 良遊

ジュニア展

入選おめでとう

絵画・デザイン・版画の優秀作品が応募、展示された県ジュニア展に、次の人たちが入選、それぞれ受賞しました。

「版画」
特賞(新潟日報社賞) 熊倉千浩 矢代田小四年
優秀賞 八木義雄 小須戸小四年

奨励賞 一年 矢代田小
保科まさあき
ほんだみさえ
ほんだみさみ
武田幸子 小須戸小
渡辺厚子
二年 矢代田小
横山真弓
加藤博美 小須戸小
阿部範子
三年
渡辺聰子 田中良子
丸山浩子 保科賢一郎
以上小須戸小

四年 矢代田小
田村順子
熊倉千浩 小須戸小
加藤厚志
五年 矢代田小
木伏正行
小林光明
六年 小須戸小
高野み子
佳作賞 一年 小須戸小
佳作賞 一年 小須戸小
ほしなとしゆき矢代田小
いたやちつこ
野崎みのる
川瀬まさのり 小須戸小

三年 小須戸小
間野英俊
熊倉ちひろ 佐藤友幸
佐野信二 以上矢代田小
高山美智代 小須戸小
四年
小林素子 中谷加代子
高山範子 高井栄太郎
小林佐和子 以上矢代田小
風間裕子 小須戸小
五年
田沢直子 村山悦子
田沢美徳 阿達清
佐野幹夫 以上矢代田小
六年
板谷節子 矢代田小
川瀬栄子 小須戸小

小(版) 中篇 矢代田小 熊倉千浩

「絵画」